

「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム

# 生物・医薬品工学研究センター講演会

## Recent trends in enzymatic synthesis: novel pharma applications, flow chemistry & automation

(酵素を用いる有機合成の最新動向：新規医薬品への利用、フロー合成並びに自動化)

日時：2022年10月3日(月)

13時10分～14時40分

場所：富山県立大学 生物・医薬品工学研究センター 共同会議室(K115)、

Zoom 併用

<https://zoom.us/j/97943458191?pwd=eFU2T2srRWFvWjUvOGFMWkhuUXpldz09>



来聴歓迎 (参加自由)

講師：Professor Dr. Harald Gröger (Bielefeld University)

### 講演要旨：

医薬品の新規かつ競争力のある生産プロセス開発のためのアプローチの一つとして、酵素触媒を用いる有機合成法の導入がある。本講演では、潰瘍性大腸炎に対する医薬品オザニモド (Ozanimod) のキラルな主要中間体の酵素合成など、製薬企業との協力で行った研究成果を紹介する。また、製薬用フロー合成プロセスの重要性が増しており、その開発は、米国食品医薬品局 (FDA) や欧州医薬品庁 (EMA) のガイドラインに適合している。我々の研究室において開発した、ウェブインターフェースを用いる完全自動化フロー合成システムについても紹介する。

連絡先：富山県立大学工学部 生物工学科  
浅野 泰久 [TEL:0766-56-7500](tel:0766-56-7500) (内線 1530)  
e-mail: [asano@pu-toyama.ac.jp](mailto:asano@pu-toyama.ac.jp)